

天声人語

「アメリカ合衆国」という言葉は、民主主義国家の雰囲気をかもし出すものの、訳語としては違和感を覚える。ユナイテッド・ステーツ・オブ・アメリカのだから、州の連合体であり、「合州国」だろう▼いくつかの州から出てきた動きに、かすかな救いを見た思いがした。トランプ氏が大統領令で中東・アフリカの7カ国の国民や各国からの難民の入国を一時禁止したことに対し、カリフォルニアやニューヨークなど15の州と首都ワシントンの司法長官が、非難する声明を出した▼声明は強い調子である。大統領令を違憲で違法だと述べ、連邦政府に憲法を守らせるために取り組んでいくとした。「宗教的自由はこれまでもこれからも我が國の鉄則である。この真実を、いかなる大統領も変えることはできない」とある▼暴言から暴投へ。就任から1週間余り、大統領令を連発するトランプ氏である。通商協定TPPからの離脱を決め、メキシコ国境に壁をつくるよう指示する。なかでも今回の入国禁止には「イスラム教徒への狙い撃ち」との批判が高まっている▼米国の強みは多元主義である。それを傷つけてしまうとの危惧が強まっている。ニューヨークの連邦裁判所は強制送還を認めない仮処分を出した。議会も含め、三権分立が十分機能することを願う▼各地の空港では抗議をする人びとの姿がある。数々の手書きのプラカードの映像を目にしつつ、合衆国の多様な「衆」の強さを思う。けつして、蠍の斧ではないはずだ。

2017.1.31